

# 明日香村の幼・小・中一貫教育



## 幼小中教職員の連携・協力による学校教育の充実

- 幼小中教職員が「明日香村の教育目標」や「めざす子ども像」を共通理解し、連携を密にして情報共有を図る。
- 指導方法の研究と改善のための研修体制を整え、幼小中教職員の交流活動や合同会議、合同研究・研修によって教職員の資質向上と指導力の向上を図る。
- 明日香村立学校の教職員であるという意識で、全教職員が連携・協力して教育活動に取り組む。
- 小学校において教科の専門性を活かした教科指導を行うため、高学年における段階的な教科担任制を導入する。
- 一貫教育推進のため、幼小中合同の各種会議を定期的に開催する。  
 一貫教育推進委員会：毎週1回、言語力・英語・郷土学習・中期・専門教育各部会：1ヶ月に1回、  
 学校・地域コミュニティ協議会：学期1回、学校支援「協力者のつどい」：年1回  
 幼小中教職員合同研修会：年4回  
 ※平成27年度から、小中教職員全員に兼務辞令を発令している。

## 明日香村のめざす子ども像

- 郷土を知り、郷土を愛し、郷土に誇りを持ち、郷土を語れる子ども
- 夢に向かって、自らの生き方を切り開く意欲あるたくましい子ども

確かな学力

豊かな人間性

健やかな心と体

12年間を見通した一貫性のあるカリキュラムと指導

学年の発達に応じたねらいと到達目標の作成

幼小中教職員の相互理解と協力

12年間で「めざす子ども像」に育てる決意

幼小中での子ども理解と指導力の向上

小・中学校における専門教科の指導と協力

学校・園と教育委員会・関係機関との連携強化

地域の方々の知恵と力を活かした学校支援

学校・地域コミュニティによる学校支援

# 幼小中一貫教育の取組の重点

## 1. 学力の基盤となる『基礎的な言語力』の育成・学習規律の確立

すべての教科の学習の土台となる基礎的な言語力（聞く・話す・読む・書く・描く）を身に付けさせ、学力の向上につなげる。そのために、全教職員が子どもたちの言語力を高めるための「実践記録シート」を作成し、互いに情報交換しながら、幼小中を通じて子どもの発達段階に応じた言語力育成に取り組む。また同時に、幼小中を通じて学習規律の確立を図る。

## 2. 郷土学習の充実

「郷土を知り、郷土を愛し、郷土に誇りをもち、郷土を語れる子ども」を育てるために、「郷土学習プログラム」をもとに郷土学習を実践するとともに、毎年プログラムに修正を加えながら授業改善に取り組む。  
また、平成30年度に作成した“前期用”と“中期用”及び令和元年度に作成した“後期用”の明日香村郷土学習副読本を積極的に活用する。

## 3. 英語教育の充実

幼小中の発達段階に応じた英語力とコミュニケーション力を付け、地域に根ざした「国際人」を育成するために、明日香村独自で12年間を見通したカリキュラムを作成し、英語教育の充実に取り組む。  
平成26～29年度文部科学省外国語教育強化地域拠点事業の研究指定の成果を、学習指導要領につなぎ実践する。

## 4. 専門性を生かした教育の充実

中学校教諭が年間を通して小学生を指導したり、小学校専科教員が中学生を指導したりするなど、教科の専門性を生かした教育を推進する。  
今年度では、理科・図画工作・家庭科で5、6年生、音楽で5、6年生を中学校教諭が指導している。さらに、小学校専科教員（英語科）が中学3年生を指導している。

## 5. 豊かな人間性と健やかな心身の育成

自分を大切にすると共に他人も大切にすること、人権感覚を身につけ、正しく判断し、行動する力と健やかな心身を育てるために、子どもの基本的な生活習慣、規範意識、自尊感情の醸成と、体力・運動能力の向上に努める。

# 明日香村の特色ある教育

### 英語教育の充実

・村費で英語指導助手（ALT）2名を雇用。  
幼…週1回2時間（4歳児・5歳児各1時間）の「英語活動」を実施  
小…1～2年で年20時間の「外国語活動」を実施  
3～4年で週1時間の「英語科」を実施  
5～6年で週2時間の「英語科」を実施  
中…全学年で週5時間の「英語科」を実施

### 国際交流教育の推進

#### ★海外への中学生派遣事業

①南オーストラリア州 アデレードへ  
「明日香の風」と命名し、約10人の中学生を派遣する。（8泊10日ホームステイ）



明日香の風

②韓国 姉妹都市韓国扶餘郡の視察研修及び学校訪問を「日韓のかけ橋」と命名し、約10人の中学生を派遣する。（2泊3日）

★外国からの教育旅行・視察を受入れて交流主に小中学校で児童・生徒との交流を実施  
新型コロナウイルス感染拡大により、令和2・3年度の国際交流は中止している。

### 郷土学習プログラムの実践



平成29年度より、明日香の「歴史・伝統文化・自然・くらし」の4つをテーマに、前期～後期までの12年間を通じた「郷土学習プログラム」の実践に入っている。

特に、後期（中学3年）では、「これからの明日香村の有るべき姿」を明日香村に提言する生徒の育成を目指している。

#### 【前期（幼稚園）】

郷土明日香に触れ・感じる段階

#### 【前期（小1年～4年）】

郷土明日香の特色に気づき、学んだことを表現する段階

#### 【中期（小5・6年、中1年）】

郷土明日香の魅力を捉え、その魅力を広く伝える段階

#### 【後期（中2・3年）】

郷土明日香を深く探究し、これからの明日香のあるべき姿を自分らしく創造し、広く村民に提言する段階

### 特別支援教育の充実

支援を要する園児・児童・生徒のために、村費による支援員を配置している。

小学校…4名

中学校…1名

教育支援委員会に幼小中の教職員と校医だけでなく、臨床心理士、健康づくり課の保健師、明日香養護学校の専門職員も参画し、就学前からの把握と支援・助言にも力を傾注している。



### 総合型地域スポーツクラブ「NPO法人楽スガあすか」との連携

専門性を生かした基礎体力づくり、継続した体育指導を目指している。

〈幼・小・中学校出前教室〉

#### 幼稚園

- ・体操（年中・年長）
- ・ボール蹴り
- ・ボール投げ
- ・ボルダリング（年長）

#### 小学校

- ・体育科学習（低学年）
- ・ボルダリング（全学年）

#### 中学校

- ・柔道（1・2年）
- ・ダンス

#### 〈短期教室〉

- ・小学生夏休み水泳教室
- ・小学生走り方教室 など

#### 〈中学校みなし卓球部〉

- ・学校部活動に準じた活動を実施

#### 〈1年生わくわく教室〉

- ・体を動かそう
- ・作ってあそぼう

